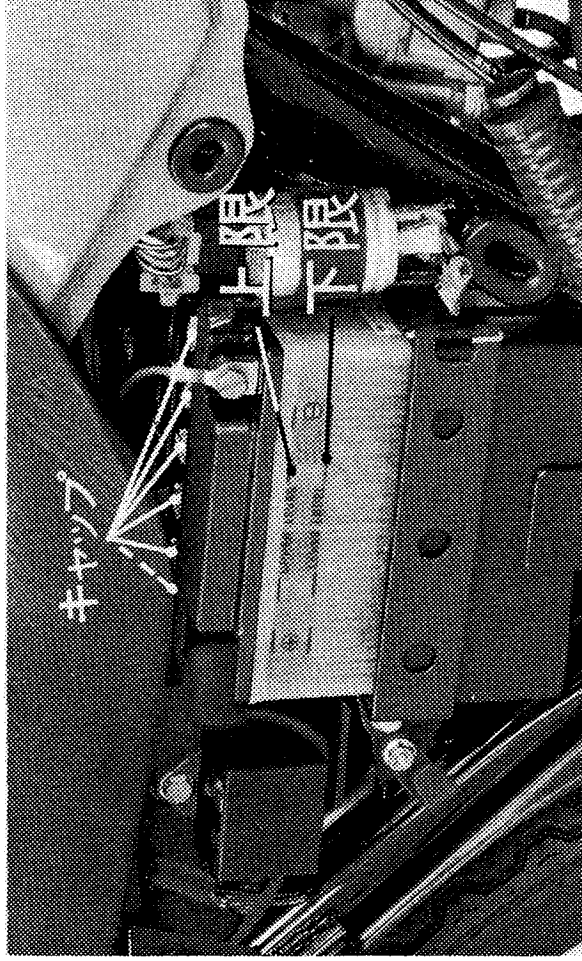


バッテリー液の点検・補充

- 右サイドカバーを外し、バッテリーの液量を点検します。
- 液量が下限 (LOWER LEVEL) に近かったら、バッテリーを外して、キャップを外し、蒸留水を上限 (UPPER LEVEL) まで補給します。



注意

- 車が傾いていると、液量は正確に計れません。
- 蒸留水を入れ過ぎると、こぼれて腐蝕の原因になります。
- バッテリー液を点検、補給した後は、ブリーザーチューブがブリーザー孔にしっかりと結合させていることを必ず確認して下さい。
- ブリーザーチューブがかなりつまっていると、バッテリーの内圧が高くなりケースが破損する可能性があります。配管は正しいか確認してください。
- バッテリーからは、可燃性の水素ガスが発生していますので、取扱うときは火気を近づけないでください。
- バッテリー液は、希硫酸で、目や皮膚を侵しますので十分注意してください。万一、付着したときは、すぐに多量の水で少なくとも5分間以上洗浄し、専門医の診察を受けてください。
- 充電の際は、結線に十分注意し、すべてのキャップを外してください。また、密閉された場所では、必ず換気を行ってください。

注意

- バッテリーブリーザーチューブ
- キャブオーバーフローチューブ
- エアークリーナードレインチューブ
- ブリーザードレインチューブ

